

山形県中学校総合体育大会夏季大会 熱中症対応について

(陸 上 競 技)

1 全体として実施すること

- (1) 近隣病院への緊急時の対応への依頼を行う。
- (2) 会場に養護教諭を配置し、体調不良者への応急処置ができる体制を整える。
- (3) 出場校に「熱中症事故防止について」の文書を配布し生徒への事前指導を行う。
- (4) 競技会場に、緊急用の氷、スポーツドリンク等を準備する。
- (5) 選手や役員の健康観察をこまめに行う。

2 状況に応じて競技ごと対応すること

- (1) 可能な限り冷房の効く部屋を確保し救護室とする。
NDソフトスタジアム屋内走路やサイドスタンド下の日陰の場所、体育館等を休息・休憩場所に充てる。
- (2) 競技団体より医師を派遣し、適宜アドバイスを受けながら迅速な対応をとる。
- (3) WBGT指数の計測は、本部（総務）及び風向風速係が1時間毎に計測・記録を行い、専門部長・委員長に報告する。
- (4) グラウンドコンディションのアナウンスと同時に（2）指数を会場全体に伝え、こまめな水分補給や（1）を利用した休息・休憩を促す。
- (5) WBGT 31℃以上または気温 35℃以上を指している間は、競技の中断、ラウンド進出条件やタイムレースに変更を検討するなど柔軟に対応する。
- (6) 長距離種目においては給水箇所を設ける。ただし助力行為とされるためルールに準じながら対応する。

3 変更の連絡について

- (1) 事前に変更が予想される場合は、県中総体参加校に「競技上の注意」を配布し周知を図る。
- (2) 具体的な内容や詳細や緊急の変更は、監督会議で連絡し周知を図る。
- (3) 状況に応じて「山形県中学校体育連盟ホームページ」に掲載する。

<http://www.cyutairen.jp>